

# 令和3年度における認知症の理解促進に向けた取組

## 目的

都民の認知症に関する理解促進を図り、認知症の人とともに暮らせる社会の実現に向けた機運を醸成する。

## 令和3年度における主な取組

### 認知症シンポジウム <継続>

【概要】世界アルツハイマーデーを記念し、都民向けに認知症に関する講演、パネルディスカッション等を実施する。

【時期】令和3年9月

【規模】1回

※開催形式は検討中

### とうきょう認知症希望大使の設置<新規>

【概要】東京都の認知症本人大使を任命し、シンポジウムの場などで体験等を語ってもらうなど、認知症の本人からの発信を支援する。

※認知症本人大使「希望大使」

国は、認知症施策推進大綱に掲げる「普及啓発・本人発信支援」の取組として「希望大使」を任命しており、各都道府県にも「地域版希望大使」を設置することを目指している。

### 認知症体験型VRによる普及啓発 <新規>

【概要】スマートフォン等を活用し、自宅等においてVRで認知症の疑似体験ができるツール及び「知って安心認知症」パンフレットを配布することにより、認知症に対する正しい理解の促進を図る。

【規模】850セット

### 認知症サポーターの養成 <継続>

【概要】民間企業等における養成講座開催を支援する。また、都の新規採用職員に対して養成講座を実施する。

### オレンジ・ライトアップ<継続>

【概要】世界アルツハイマーデーの前後に、都庁舎をオレンジ色にライトアップし、都民の認知症に関する意識啓発を図る。